

太宰府市教育委員会教育長

ひだ きょうこ
樋田 京子



先月号の清水副市長からのバトンタッチで、引き続き太宰府市の文化遺産の話題です。私は大宰府政庁跡から眺める四王寺山が大好きです。晴れた日に視界に広がるくっきりとした稜線、雨上がりの霧立ちわたる神秘的な情景、夏には樹木の緑が、秋には紅葉が色合いを競います。この風景を1300有余年前の先人達が梅の花を愛で、歌を詠みながら眺めていたと思うと不思議な感覚を覚えます。

太宰府市は今年、大宰府跡・水城跡史跡指定100年の節目の年を迎えました。現在、文化財のマスタープランともいえる「太宰府市文化財保存活用地域計画」(地域計画)を作成中です。

これからの100年への展望を描き、世界に冠たる令和発祥の都にふさわしい文化遺産の保存・活用を推進してまいります。

特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス
..... 2~5

【決算 特集】

- ・令和2年度実施した主な事業... 6~7
- ・令和2年度決算の報告 8~12
- ・ふるさと納税 13
- ・国保と健康 14~15
- ・介護保険と支え合い 16~17
- ・歴史と文化の環境税 18
- まちづくり市民意識調査の結果 ... 19

ご当地ナンバープレートの交付が始まります 20

11月12日~25日は女性に対する暴力をなくす運動週間です 21

新型コロナウイルスワクチンの接種について 22

市からのお知らせ 23~29

連載 30~37

なんでも情報コーナー 38~47

太宰府の文化財 48

市政ニュース

史跡地の保存・活用

第56回全国史跡整備市町村協議会太宰府大会開催!

10月6日、史跡、名勝、天然記念物などが所在する全国619市町村が加盟する、全国史跡整備市町村協議会(会長:豊岡武士三島市長)第56回太宰府大会を開催しました。



半世紀ぶりとなる福岡県内の開催ですが、直前までコロナ禍による緊急事態宣言が続いたため、断腸の思いで通常開催を断念し、大会初のオンライン開催といたしました。

全国副会長を務める楠田市長が、大会実行委員会委員長、そして議長をつとめたこの大会は、史上最多の271団体、423人が参加する記憶にも記録にも残る大会となりました。

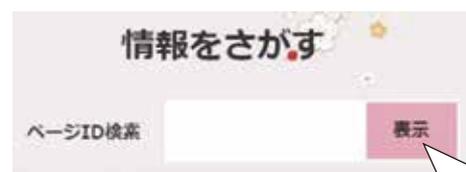
楠田市長からは、規制緩和を勝ち取り史跡地の梅を活用する梅プロジェクト、日本遺産の広域化による近隣連携、史跡指定100年イベントなど史跡活用の先進事例を紹介しました。

また、太宰府の歴史や研究について、令和元号の考案者とされる中西進先生なかにしすすむ、考古学者の小田富士雄先生おだふじおに、それぞれ録画にてご講演をいただきました。

そして、大宰府史跡解説員、国分小学校の「子ども史跡解説員」の皆さんが、現地で史跡を紹介する映像や実行委員自治体の名所旧跡の映像を作成し、参加者に視聴いただきました。

全国から本市へお越しいただけなかったことはなはだ残念でしたが、令和のご縁をいただき、大宰府跡・水城跡の史跡指定100年の節目の行事を締め括る絶好の機会となりました。

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある7けたのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。